



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通 算 2813回
2014年9月19日
第11回例会
毎週金曜日

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

2014-2015年度 R I 会長
ゲイリー C.K. ホアン

会報編集 石蔵尚之委員長

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎②2171

例会場

事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎②6665 ☎②6505

[URL] <http://www12.ocn.ne.jp/~hrc/>

[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

9月 新世代のための月間

点 鐘 鳥井正徳会長
歌 唱 ツンギーダー 堀川匠太委員
国 歌 「君が代」
R S 「それでこそロータリー」
司会・進行 水野虎彦プログラム委員長

会長の時間

会長 鳥井正徳



本日は2014~2015年の職業奉仕セミナーが9月13日に富合町のアスパル富合で行われ、浦田職業奉仕委員長と出席いたしましたので、その報告と職業奉仕はどうあるべきかについての

研修内容をご説明申し上げます。

今年のセミナーでは「職業奉仕の捉え方がクラブによってまちまちである」という実態に立って「職業奉仕を考える」と題しての研修でした。従いまして、討議の柱を「クラブでの具体的な奉仕活動は?」「あなたが思う職業奉仕とは?」という2つのテーマの下に、グループ討議が活発に行われ、その後、職業奉仕委員長から職業奉仕はどうあるべきかについて詳しい説明がございました。

まずグループ討議や各グループの発表の中で感じたことを4つ申し上げます。

①職業奉仕活動の具体例として、大体共通していたことは、職場訪問と従業員等の表彰、卓

話の3つの活動でした。人吉ロータリーは、この3つの活動を継続してもらっていますが、クラブによってはまちまちで社会奉仕ではないかと思われる話もございました。

- ②職業奉仕と社会奉仕の違いはどこにあるかという、大まかに言えば職業奉仕は内なるもので、社会奉仕は外に向けるものだという話もあり、これが基本かなと思いました。
- ③職業奉仕は4つのテストと密接な関係にあり、それを基本にすえて常に取り組む必要がある。
- ④新しいというかあまり他のクラブは見られない取り組みとして、新聞で報道された西天草RCの就職試験を間近に控えた高校3年生への模擬面接の取り組みが紹介され注目されました。

次に、職業奉仕委員長から「職業奉仕に学ぶ」という題で説明がありましたので、その内容の要点をお知らせいたします。

1. 職業奉仕の核となるものは3つある。
 - ①あらゆる職業において、最も高度な道徳的水準を守り、推進すること。
 - ②自己の職業のみならず、あらゆる職業の社会に対する価値を認めること。
 - ③自己の職業上の手腕を、社会に有用な問題やニーズに役立てること。
- いわば、業界内での最高のレベルの水準に、社会に有用な職業を認める、職業で培ったもので社会に貢献する、の3つです。
2. それでは、職業奉仕活動にどんな分野があるかということになりますが、5つの分野があると説明されました。

- ①職業情報分野 これには、外部講師や会員の卓話、職場訪問、異業種の方々との意見交換、高校生向けの職業講演があります。
- ②就職相談分野 これには職業相談会、職業

情報提供が含まれます。

- ③職業指導分野 就職希望者の模擬面接（天草荅洋高校の例）。従業員への健康・福利・教育への支援、障害者のための職業機会の創出等があります。
- ④職業活動の表彰分野 これは特に秀でた従業員に対する表彰（推薦者は？表彰基準は？表彰内容は？）
- ⑤ロータリーボランティア分野 地元では得られない専門的知識や技能を持つボランティアを見つけるのを支援する。
- 職業奉仕の核となるもの3点、職業奉仕活動の分野5点など、私自身もモヤモヤが消えたように思いました。後は「職業奉仕ハンドブック」が配布されますので、詳しくは御覧いただきますようお願い致します。

幹事報告

幹事 有馬宏昭



【理事会承認事項】

- ①例会日変更：10月24日（金）の例会は移動例会くま川鉄道「田園シンフォニー」車内例会の為10月25日（土）午後18:00～に変更

【連絡事項】

- ①国際ロータリー2720地区小山康直ガバナーより広島土砂災害義捐金お振込のお礼が届いています。
- ②クラブ管理運営部門秀平賢二部門長よりクラブ管理運営セミナー開催のご案内が届いています。
- 日 時：2014年11月8日（土）13:00～16:00
場 所：宇佐文化会館ウサノピア小ホール
対象者は、クラブ会長・会長エレクト・クラブ管理運営委員長・クラブ研修リーダーです。
→鳥井会長へお渡しします。
- ③地区より2013～14年度地区資金監査報告が届いております。
- ④地区職業奉仕委員会前田眞実部門長より、職業奉仕ハンドブックが届いています。会員一人に1冊を配布します。ご活用ください。
- ⑤青井神社より例大祭の献幣式への参列の案内が届いております。日時：10/8（水）10:30より
→鳥井会長へお渡しします。
- ⑥球磨の民謡全国選手権大会実行委員会より協賛のお礼が届いています。
- ⑦熊本県共同募金会人吉市支会より「おくんち祭り」街頭募金のご協力依頼が届いています。
- 日 時：10月9日午前10時～12時まで
→片岡社会奉仕委員長へお渡しします。

- ⑧人吉市オープンゴルフ大会の協賛のお願いが届いています。期日：11月3日文化の日（月）

【回覧物】

- ①第61回人吉球磨総合美展ポスターおよびチラシが届いています
- ②指宿RCより週報が届いています。

【例会変更・取止め】

- ①指宿RCより例会変更の案内9/16（火）18:30～野外バーベキュー大会
〃 9/23（火）は祝日の為、休会
- ②熊本南RCより例会取止めの案内9/30（火）を定款第6条第1節に基づき取止め

≪ 寄付の申し出 ≫

馬場貞至会員より、米山記念奨学会へご寄付がありました。

球磨川音楽祭お礼

馬場貞至



9月12日（金）第8回球磨川音楽祭ではお世話になりました。バイオリンの木野雅之先生からお話をいただき今回歌わせていただきました。一緒に歌わせていただきましたソプラノの見角悠代さんは美人でたいへん素敵な女性でございました。彼女がアンコールに一升瓶を抱えて、「酒のうた」というのを歌ったのですが、それがまた見事で聴衆を魅了した素晴らしい音楽祭になりました。ご協力ありがとうございました。また今後とも宜しくお願いいたします。

≪ 寄付の申し出 ≫

葉山稔洋会員より、長女の結婚を記念して、R財団委員会、米山記念奨学委員会へご寄付がありました。



出席率報告

委員長 村山能史

本日の出席率			
会 員 数	63名	79.31%	
出 席 免 除	5名	9 / 5 出席率	91.38%
欠 席 者 数	12名	補 填 数	5名
出 席 者 数	46名	修正出席率	100%

- *届け出欠席 小林祐・有村・宮原・浅野・中川・伊久美・青木
外山・中村・尾上・上田・塚本
- *出席免除会員 (b) 増田, 愛甲, 山本, 高山, 丸尾
- *メイクアップ
多良木RC; 渡辺・中川・鳥井・有馬
米山奨学生研修; 伊久美

して細川公から褒賞をうけた孫次郎にちなんで「孝子孫次郎賞」を新設し、表彰を行なったことが載っています。

18ページには、若い会員を引きつけ、クラブで末永く活動を続けてもらうための8つのアイデア

- ①年2回特別な例会を企画
 - ②伝統を見直す
 - ③ロータリーを紹介する媒体を考える
 - ④会費を工夫する
 - ⑤例会にとどまらない出席・参加（メイクアップ）
 - ⑥会員が参加しやすいイベント企画
 - ⑦計画の初期段階から若い会員に参加してもらう
 - ⑧家族で参加しやすい行事や活動を企画
- という紹介が載っています。

縦組み4ページには福岡県大木町の「もったいない宣言」でまちづくりを進めておられる石川町長のIMでの講演。資源循環のまちづくりへの取組みについて地域住民の皆様と行政と一緒にやって初めてまちづくりが進むということ、そして無駄の多い今の社会を少しでも見直して子どもたちの時代にツケを残さないようなまちづくりをしよう、という内容が書かれています。

最後になりますが、18ページ「ロータリーとは何か」では、2700地区2005～2006年度地区ガバナー廣畑氏の著書「ロータリーの心と原点」に「ロータリーの本質は慈善ではなく、倫理性を大切にすること」「あの人がいるから行こう、素晴らしい卓話があるから今日も行こう、と思うようなロータリーでなくてはならない」と述べているように、ロータリーは人に興味を持たせ、喜び、刺激を与えるものであるべきだと思います。これからも皆さんと学び、職業人として、人間として、社会のために役立ち、地域の良き指導者として行動していきたい、と寄稿されています。

以上、ロータリーの友9月号紹介を終わります。

【雑誌委員会】

ロータリーの友9月号の紹介

紹介者 川越公弘会員



ロータリーの友9月号の紹介をさせていただきます。皆さまもうお気づきだと思いますが、今年度から横組み表紙裏にロータリーの創始者ポール・ハリスの言葉が記載されています。

- 7月号 人間は、通常進歩するという点で、他の動物とは異なります。人間の進歩を長く抑えることのできる唯一のものは、先例です。
- 8月号 ロータリーは友情の扉です。みんなのために扉を開け放ちましょう。
- 9月号 見つけようとしさえすれば、人生には必ず価値があります。その価値は銀行口座の中にもありませんし、他の財産の中にもありません。

本当ですよ、見つけようとしさえすれば人生には必ず価値がありますね。

さて、9月は若い人々の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を当てる「新世代のための月間です」です。まず、1ページにRI会長が会長であることの素晴らしい恩恵の一つは、ロータリー世界のさまざまな地域を訪れる機会に恵まれることです。若い世代の活動を見るときに考え方に独創性があり、工夫をこらした発想に感動する。新世代を応援することは自分たちの組織全体の未来を応援していることにもなると言っておられます。

新世代の未来のために、地域で海外で、支援に汗を流すロータリアン（8ページ～17ページ）

13ページ、現代の孝子を表彰—山鹿ロータリークラブは将来のふるさと・山鹿を担う新世代の若者に親孝行を実践して欲しいと、孝行な子と

【ニコニコ箱委員会】 委員長 平田フク

- 葉山会員 東京在住の長女加奈が宮古島のアラマンダチャペルで挙式しましたのでニコニコします。
- 岩本会員 有村君からゴルフ、石蔵君からラフティング、宮山君から阿久根の夜釣りに誘われ楽しい時を過ごせました。ありがとうございました。後日孫娘が訪ねて来て、「爺ちゃん、そぎゃん遊んでばかりおって良かとね」と言って帰りました。
- 有馬幹事 葉山稔洋さん、加奈ちゃんのご結婚おめでとうございます。末永いご幸福をお祈り申し上げます。

点 鐘 鳥井正徳会長

～ 広報 ～

「ガバナー月信」は地区のホームページでご覧になれます。

2014年9月 vol.03 より
小山康直ガバナーメッセージ

『夏は若者が躍動する季節』

今年の夏も全国の高校生たちはスポーツ、芸術文化を問わず、暑い夏を更に熱くする戦いを行いました。すべての戦いは筋書きのないドラマであり、無心に戦う姿に私たちは大きな感動を覚えました。

戦いには、勝ち負けが必ずつきます。勝つことがすべてではないとはいえ、負けた側の悔しさは本気で努力してきた者にとっては筆舌に尽くし難いものです。しかし、若者がその無念さを乗り越えて、人生の次の一步を踏み出していく姿にみんなが感動するのです。勝って学び負けて更に深く学ぶ、そこに青春のすばらしさがあると思います。

私の学校では野球部が今年甲子園へ初出場を果たしました。皆さんからはガバナー年度に初出場はおめでたいと言われました。私もアルプススタンドで応援し、真っ赤に日焼けしたままです。書道部は全日本高校・大学生書道展で最優秀校に選ばれ、吹奏楽は九州コンクールで並み居る強豪校に混じってすばらしい演奏をしてくれました。生徒達の成果を共に分かち合えたこの夏はこれまでの夏では決して経験したことのない貴重な体験となりました。

さて、9月は新世代のための月間です。国際ロータリーは青少年奉仕を四大奉仕に加えて五大奉仕としました。この第5部門である青少年奉仕は、「指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。」

9月は「新世代のための月間」です。年齢30歳までの若い世代は「宝石の原石」です。我々ロータリアンが、クラブの活動を通して、あるいは個人として、この「原石」を磨く活動に関わって行けたら。そのために何ができるか、それを考えてみたい一月です。今月の月信は、地区内のインターアクトクラブ、ロータリーアクトクラブの活動報告を紹介いたします。みずみずしい報告をご覧ください。と規定されています。私たちの地区には青少年奉仕部門には、ロータリーアクト、インターアクト、青少年交換の各委員会があります。RYLAは職業奉仕部門の委員会にしていますが、青少年奉仕

であることには変わりありません。

インターアクトもロータリーアクトもさらに活発に活動するためにはクラブのなり立っている基盤の組織にまで踏み込んで解決策を見いださなければなりません。各クラブの委員長に任せているだけでは駄目です。提唱のロータリークラブが一体となってインターアクトクラブあるいはロータリーアクトクラブを支え、育て上げなければ青少年奉仕は絵に描いた餅となってしまいます。そのためにはインターアクター・ロータリーアクターをロータリーファミリーとして積極的にロータリー活動に巻き込んでいかなければなりません。一緒に活動を続ければロータリーが良いものだ実感してくれるに違いありません。

新規事業となる青少年交換事業は本腰を入れて取り組まなければならないでしょう。RYLAも実施が計画されており、大いに楽しみです。

各クラブで独自に行っている青少年への奉仕活動も推奨します。継続しながら更に一步前進させてください。向上していかなければ現状を維持することすら不可能です。現状に満足することなく青少年奉仕にもっと積極的になろうではありませんか。

これはしようか？しないでおこうか？と逡巡していたことにも思い切って挑戦してみるべきです。世のために良いことになると思ったことは実行しましょう。考えているだけでは何も変わりません。さあ、今こそ思いを形に表す挑戦の時です。

